

株式会社天満屋 様

(岡山市北区)

TENMAYA

ホームページアドレス <http://www.tenmaya.co.jp/>

—女性社員の方が多い職場での取り組みを教えてください

女性の多い職場であり、また、お客様も女性のお客様が多くご来店いただく中で、女性の目線が出るということは、会社にとってもお客様にとってもプラスだと考えています。出産や子育て中の社員も多くおり、法定を上回る充実した育児休暇制度や短時間勤務制度などの導入により、仕事を諦めずに続けたいと思ってもらえる制度を取り入れています。

—短時間勤務制度などで、子育て支援や仕事の継続を支援されているのですね

社員には、会社に戻り仕事を続けてほしいと思っています。勤務時間の短縮制度も活用していただきたいですし、フル勤務に戻ることを見据えて家庭でも環境を整えていってほしいと願っています。また、社員自身が「戻りたい」と思ってもらえるような会社でありたいです。男性社員の育休取得についても、取得に向けた風土づくりや制度の見直しを強く推進していきます。家族にとっての育休ということだけでなく、共に働く女性社員の大変さを実感できることもあり、会社にとって大変重要な取り組みと考えています。

—職種で昇格は変わってきますか

販売や営業など、さまざまな部門がありますが、昇格には差はありません。

—管理職への登用という面で工夫されていることはありますか

前提としていわゆる管理職という肩書がなくとも、各部門でめざましい仕事をしている社員はたくさんいます。その中で女性の管理職を増やす取組としては、まず「現場のリーダー職（係長相当職）に女性をいかに上げていくのか」という点に重点的に取り組んでいます。その結果、現在では現場のリーダー職については女性のほうが多くなっています。管理職への登用については、育児短時間勤務の間にも勉強を続け、フル勤務になった後社内昇格試験を受験するというような、子育てを抱えた女性の受験も増えてきています。ただ、管理職ともなると責任も相応にあるため、受験者の中で女性の割合が少ないという現状があります。専門性の追求だけでなくマネジメント業務への興味を持ってもらうことや、女性になりたいと思える管理職像の構築を進めるなど、男性・女性を問わず上位のステージにぜひチャレンジしていってほしいと思います。

ありがとうございました

総務企画本部人事チーム（兼）人材開発チーム課長の中島 淳様にお話を伺いました